

人をやさしさで包みこむ グレート・ピレニーズ

文・取材協力：水口邦夫



写真：井川俊彦

頑固で扱いにくいなどと
思っているいませんか？

グレート・ピレニーズの特徴は巨大な体格と白い長い被毛、そして最大の魅力はその性格です。ふだんはおっとりとした物腰でいながら、何かがあると猛然とした態度をとる犬。それがグレート・ピレニーズです。

本来の彼らは、羊や羊飼いと一緒に行動し羊を守ります。もちろん飼い主も、そして何より「弱者」を守るのです。

現在の日本のピレニーズはアメリカ、フランス、イギリスから輸入されたもので、その内の9割以上が米系、他は仏系と英系です。それぞれの国の魅力はありますが、その魅力は同じです。

犬種紹介の本や飼い方の本ではグレート・ピレニーズは、ややもすると飼いにくい犬種、扱いにくい犬種のように書かれているのを見ると理解不足の感があり残念に思います。本来は非常に性格の良い気配りのできる犬

愛犬の友

10
2009 OCT.

特集

ラジャツセル・テリヤ

特集
希少な犬種の闇と光
絶滅危惧と復興へかける思い

もっと知りたい
犬種特集

ジャーマン・シェパード・ドッグ
グレート・ピレニーズ
ケリーブルー・テリア
ラフ・コリー
外観を誇張しすぎた犬
「レッドアラート・リスト」
パート2

JAPAN
DOG
RANKING
J.D.R.
Presented by AKEN SOU-TOMO

2009年
ジャパン
ドッグ・
ランキング
第3回経過発表

1週間で教える得意技犬マニュアル



人が大好き

飼い主さんだけでなく、ご近所の子どもたちとも仲良く遊びます。



食事はグルメ 同じ食事にはすぐに飽きてしまいます。



犬舎には
ベッドを

繊細なピレニーズには、寝るだけでなく隠れることもできるベッドが大活躍。



子犬のしつけ

散歩で行く方向を嫌がっても、わがままを許さないことが大切。



運動は充分に

さすがは大型犬、子犬と言えど走ったときの1歩は大きいのです。



どんな子犬が欲しいですか？

子犬選びは慎重に、事前に飼う環境を整えてから迎えましょう。

種と思いますが、頑固な性格の分、扱い次第で他の大型犬種より扱いにくく受け取られるようです。

感受性が強く、一度不信任を持つとなかなか許してくれない。性格は他の大型犬（セントバーナードやニューファンドランド、バーニーズなど）より強く、これらの犬種を飼ったことのあるオーナーがピレニーズを飼ってその違いに気づかれることが多いようです。また、他犬種を後日飼ったとき、先住犬のピレニーズが上手にしつけるようなことは、ままあります。

子犬がほしいと思ったら…

子犬を選ぶ前に、住宅事情など、将来50kg前後になる大きさの犬を飼えるか否か、吠え声に対する対策など、最低でもこのくらいはクリアしてからです。ピレニーズはペット・ショップの店頭には並ぶのは稀な犬種です。多くはブリーダーから直接購入が多いのですが、そのとき、

も必要不可欠です。叱るのは短く、長時間または何回もは不可です。

子犬期には大切な期間が2つある

グレート・ピレニーズに限らず他犬種にも共通することと思えますが、子犬期についてはブリーダーの期間と新しいオーナーの期間があると思います。ブリーダーがいかに手を掛け育てるか、そしてその子犬を新しいオーナーに渡すとき、自分のポリシーや育て方を十分に伝えるか、だと思えます。

①ブリーダーの期間

出産から生後60日くらいまで。出産頭数にもよりますが、多い場合哺乳をし、健康状態をチェックします。私共では汚れていけば必ずシャンプーします。生後15日くらいから哺乳として生肉（牛肉の赤身）の挽き肉と粉ミルク、ヨーグルトをまぜ、小豆大から与えます。徐々に量を

良いブリーダーなら希望者からいろいろ話を聞き、その人に一番良い犬を推してくれると思います。その上で、自分の目で改めて、健康であるか、やせていないか、性格などをチェックします。

最初が肝心 わがままを放置しないしつけ方

ピレニーズで困ったことの一つ多いのは、食事にあります。何でも食べる大型犬ではなく非常にグルメなのです。同じフード、メニューでは二度と続けて食べないなどですが、オーナー様の対応次第でエスカレートしてしまうのです。

ですので、子犬のときから物事の悪い悪いを、しっかりしつけておかななくてはなりません。彼らは、生後半年くらいで40kgくらい（雄犬の場合）になり、都合の悪いときには体力で抵抗してきます（散歩中行きたくない方向へは動かず、寝そべってしまうなど）。根気強く、また叱ること

多くし、哺乳・哺乳食を母乳の他1日おのおの4回くらい与えていきます。生後20〜25日で1回目の駆虫、2回目は40〜45日齢くらいで行います。生後30日を目安にドッグ・フードに移行し、50日齢くらいには、ドッグ・フード100%になるよう心掛けます。その間、肉を与えるときに個々の子犬とアイコンタクトをとるようにし、声をかけながら目が合った子犬に肉を与えることで将来のしつけの源になるようにします。また、できる限り生後60日頃までは母犬と生活させ、幼児教育をさせます。そのためには母犬の性格が非常に大切になります。

育児室（産室兼用）も大変大切な項目で、母体が40〜50kgあるので広さや造り方では子犬が圧死することもあります。また、床材の材質や敷物によって、生後間もなくから動き回る子犬の四肢に少なからず影響します。

ピレニーズの子犬は出生時500〜700gが、60日で8〜11kgとなり非常に成長が早い

狼爪って知っていますか？

ピレニーズには、他犬種にはほとんどない狼爪があります。が間違つて切除してはなりません。ピレニーズのスタンダードに明記されている通り、狼爪のな

でも取れません。犬舎の広さは、毛を白く保つには必ず必要な条件のひとつです。たとえば、当方では1頭分約2坪くらいで他にドッグ・ランがあります。

また、床は「砂利敷き」と「ウッドチップ敷き（コンクリートの場合）」にし、チップは毎日交換しています。

これが狼爪



ピレニーズの場合、狼爪は2本。稀に3本生えている子もいます。

最近の傾向は、小型化にあり？

最近のピレニーズは、30〜35年前くらい前の犬にくらべて相当変化しているようです。現在のアメリカでも、ブリーディング

いものは失格（ドッグ・ショーでは）となります。他の指の爪は歩行することにより短くなりませんが、狼爪は伸びるばかりですから、必ず爪切りが必要です。切らないとリング状になり、指に刺さります。

また、ピレニーズは深爪をして出血させると次回から爪切りをさせなくなることが多く、成犬では特に注意が必要です。

白さのお手本



光に透かした白い毛は、眩しいくらいにキラキラと輝くのです。

②新しいオーナー期間
新しいオーナーさんには一通り飼育方のアドバイスをしますが、何よりも人と犬の信頼関係を作りしっかりとしつけをすべきことで、単なる「かわいがり」「あまやかし」に終わらないよう、子犬のときから気をつけてほしいと思います。

め、足腰の関節のためには足が滑らないよう床の造り、敷物に特に注意するべきです。またこの間、極力下痢をさせないようにしないとこれから成犬になっても下痢をしやすい体質になるようです。

適切な運動量はどのくらい？

でもありません。そして、その扱い方をマスターすればこれほど楽しい犬種はないでしょう。

8カ月くらいまでは体の発育中なので、強い運動はさけ、自由運動が主体で足腰に負担をかけるないようにします。何頭かずつのグループで自由運動をドッグ・ランでさせます。

床材と広さの工夫で毛の白さは格段に変わる

外での犬舎飼育の場合、コンクリート床にしないことが大切です。理由は、汚れが広がることと、床が乾きにくく漏れた場所にいると、白い毛が黄色や茶色に変色してしまうからです。このときに付いた色はシャンプー

理想の犬舎の床素材

砂利



砂利は毎日水で、きれいに洗い流します。

チップ



敷いているチップは、毎日新しいものに取り換えます。

犬舎の広さ



犬に対してこのくらいの広さがあるのが、白さを保てるコツ。

水口邦夫 ● みなくち ぐにお
1942年、福井県生まれ。'64年公認訓練士資格取得。この頃ピレニーズと出会う。'81年山中湖へ移住し、繁殖に力を注ぎ始める。神奈川北G・ピレニーズ・クラブ代表。G・ピレニーズ・クラブ・オブ・アメリカ会員。
ドゥインクルスターホームズ犬舎主。
<http://www.tstarpyr.com/>

グ・ケネルによつてはかなり差があり、古いブリーダーによつては、魅力が薄れてきたというような言葉も出ています。

時代が違つて言う人もいますが、本来持つべき特徴を維持するブリーディングが必要であると思えます。なぜピレニーズなのか、その魅力にひかれるのは何かを考

えてほしいと思うのです。

最後に

ピレニーズの被毛は太陽の光にあたると毛先がキラキラ光り、その白く輝く様子はたゞえようがありません。そしてまた、人間大好きな巨大犬を愛するこ